

2016年度の事業報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・コモンズ

会員の皆様、支援者の皆様、事業でお世話になった皆様、昨年度も大変お世話になりました。茨城 NPO センター・コモンズは、2012年度より下記のミッション及び中期的活動コンセプトのもと、活動を進めて参りました。

ミッション

COMMONS は、
社会のために何かしたい人、NPO という道具を活かしたい人を応援することで、
組織の壁・心の壁を越えて、
人がつながり共に行動する市民社会の実現を目指します。



中期的活動コンセプト

2013年3月に策定された『茨城県新しい公共推進指針』では、全ての人が社会から取り残され孤立することのない「居場所」と「出番」のある社会、持てる力を発揮でき、いきいきと暮らせる社会を共に創るとして、2030年までの市民、コミュニティ団体、NPOの取り組みを打ち出しましたので、その具体化を進めます。

また、昨年度総会で決定された事業計画では、上記のミッション及び中期的活動コンセプト達成のため、下記の活動方針を掲げました。

2016年度活動方針

- ① **市民組織の運営支援に関する事業**
会計や労務など法人実務に関する講座や相談会を各地域で開催し、NPO法人の組織基盤強化と信頼性向上につなげます。
- ② **持続可能な地域づくりに関する事業**
制度外福祉や協働などを推進し、遊休地を活用して、様々な市民や組織がつながり、行動するようなモデルを生み出します。
- ③ **寄付社会づくりに関する事業**
JUNTOS 募金などにご寄付いただいた市民や団体に対し、具体的な成果が見えるような市民コミュニティ財団としての報告のあり方を模索します。
- ④ **孤立を防ぎセーフティネットを広げる事業**
 - 見えない困窮者を支えるため、支援組織が連携しやすい体制とコーディネーター人材をつくります。
 - 就労支援のモデル事業として「グッジョブセンターみと」を運営し、若者と事業所をつなぎます。
 - 常総市外に避難されている方が、安心して再び常総に戻れるようにします。
- ⑤ **学ぶ権利と機会を広げるための事業**
JUNTOS ハウスを基盤として、総合的かつ継続的に常総の子どもたちの学習環境向上に取り組みます。

これらが2016年度にどれくらい達成できたか、またどのような事業を行ったのか報告致します。

2016年度の活動方針①：市民組織の運営支援に関する事業

会計や労務など法人実務に関する講座や相談会を各地域で開催し、NPO 法人の組織基盤強化と信頼性向上につなげます。

◇ なぜこの事業に取り組んだのか

活動に集中するあまり、その活動を支えるために必要な会計や税務、労務などの事務力や組織基盤が十分に整っていない団体が少なくありません。また、長年活動していたNPOが、ガバナンスや会計上の問題から機能不全を起こす例も生まれています。NPO 法人会計基準の導入はおろか、簿記や会計の原則すら守られていない決算書類も散見される状況が続いています。

◇ 何をどのように変えようとしたのか

上記の状況を踏まえ、会計や法務、労務などに関してNPOがお互い学びあう講座や相談会を各地で開催し、本来の事業や組織を円滑に運営することができる人材を増やそうとしました。そうすることで、市民から信頼され、寄付やボランティアを通じた市民参加が活発な組織を増やし、足腰の強い市民社会の実現に少しでも近づけることを目指しました。

◇ 何をしたのか

茨城県や大好き いばらき 県民会議、各開催地域の自治体との共催により、県内5地域で「NPO 組織基盤強化セミナー」を開催しました。会計の基礎やNPO 法人会計基準、法務、税務、労務、マイナンバー対応のほか、NPO 法改正や監査の対応など法人として行うべき実務全般を網羅し、100名を超えるNPO 関係者が学びあいました。また昨年に引き続き、秋元監事が講師となり「NPO 会計基礎セミナー」を3回連続で開催しましたが、より長期間での開催には至りませんでした。

また岡山NPOセンターとの連携により、NPO 法人事務力セミナー及び事務力検定を開催しました。そのノウハウを引き継いで、2017年度はNPO 事務支援センター設立を目指します。一方、NPO 同士が一緒に集まり、各自事務作業をしながら、会計や労務について学びあう寺子屋を複数回実施しましたが、コワーキング・スペースというコンセプトがなかなか浸透せず、相談会のかたちとなってしまったことは課題として残りました。

◇ どのような成果が得られたのか

NPO 法人が苦手とする会計や法務、労務などの法人実務について、NPO 法人として行うべき事務が多岐に渡ることを多くの組織が気づき、行動を起こすきっかけをつくりました。講座資料を常に手元に置きながら活動の参考にしている団体もいます。また、十分に浸透していないNPO 法改正について、多くのNPO が具体的な対応方法について初めて知る機会を提供できました。

また、事務代行などNPO 事務支援センターを全国に先駆けて実施している岡山NPOセンターより、運営の詳細や課題などについて詳細にヒアリングでき、2017年度以降の活動の大きな参考となりました。

◇ 今後どうしたいのか

具体的成果になかなかつながりにくいNPOの運営に関する研修や相談対応を数多く行うのではなく、事務代行を含めたNPO 事務支援センターを試験実施して、NPO 支援が財政的にも持続可能な事業となるよう目指しながら、NPO 法人全体への信頼性向上につなげます。



2016年度の活動方針②：持続可能な地域づくりに関する事業

制度外福祉や協働などを推進し、遊休地を活用して、様々な市民や組織がつながり、行動するようなモデルを生み出します。

◇ なぜこの事業に取り組んだのか

NPO や企業、行政、組合組織、メディアなど、地域を構成する様々なセクターを超えた組織同士がつながり、ともに行動を起こさなければ、NPO だけでは地域課題の解決には大きなインパクトを残せません。一方、茨城県内にもさらに増大する空き家やシャッター通り、耕作放棄地など遊休の地域資源を有効活用する動きを広げたかったからです。



◇ 何をどのように変えようとしたのか

介護保険制度改正に伴い、地域での助けあい活動を広める必要があります。制度改正に伴い協議体設立、生活支援コーディネーター育成を具体的に計画している県内のいくつかの自治体と連携し、担い手を掘り起こしながら、県内の自治体のモデルを生み出そうとしました。同時に、制度外福祉に取り組む NPO のネットワークづくりを推進する場を設けようとしてきました。

また、各自治体との協働推進事業を通じて、行政と市民団体の連携を広げようとしてきました。特に常陸大宮市では協働推進計画策定のコーディネート、下妻市ではまちづくり市民会議のコーディネート、水戸市ではフューチャーセンターの開催を目指しました。

さらに、日立製作所及び日立ビルシステムと連携し、水戸事業所内の雑木林（サギ山）の活用に向けた自発的な人材の発掘・組織化及び活動メニュー作りを、会員である里山保全団体 NPO 環～WA と共同実施しようとしてきました。

◇ 何をしたのか

制度外の高齢者福祉社会の担い手づくりに関しては、コモンズがリードして事業実施することを計画していましたが、状況の変化に伴い、既に会員団体が生み出している動きを側面支援することとしました。各自治体における生活支援コーディネーターに対する県社協主催の研修にて、120 名近くの自治体や社協の職員、コーディネーターを対象に、生活支援体制整備における課題とその改善の方向性の整理、各自の活動計画づくりを支援しました。





各自治体と NPO の協働環境整備に関しては、水戸市、下妻市、常陸大宮市では計画していた事業の実現に至らなかったものの、常陸大宮市では 2017 年度に実施予定、水戸市では引き続き予算化に向けた動きをつくることができました。また、例年開催している共助社会づくりフォーラムでは、「共助による減災」をテーマとして、災害の各段階に応じた多様な組織連携について協議しました。

企業の遊休地活用においては、日立製作所及び日立ビルシステム、NPO 環～WA とともに

「身近な環境保全体験セミナー」を全 6 回開催し、生物多様性保全をミッションとしたサギ山保全の社員ボランティア・チームが誕生し、自発的に活動を継続しています。

企業の CSR 推進には力を入れ、白石製作所からの受取寄附金をもとに、地域住民や社員が参加する、里山保全のモデル的活動「里山保全体験&焼きイモ大会」の開催をコーディネートしました。約 120 名の親子や同社社員、ベトナム人従業員も参加し、地域の楽しい交流の場となりました。

また、地域円卓会議の協議（移動困難者の外出・買い物支援）より生まれたアイデアであるタウンモビリティを「水戸まちなかフェスティバル」にて今年も実施しました。16 もの水戸の障がい福祉団体などが連携し、出展するようコーディネートしました。

一方、計画していた SAVE JAPAN プロジェクトやともす塾に関しては、実現に至りませんでした。

◇ どのような成果が得られたのか

「身近な環境保全体験セミナー」では、企業遊休地を舞台に社員の主体性を活かしたモデル的な ESD（持続可能な開発のための教育）プログラムをつくることができました。白石製作所との連携では、中小企業でも中間支援組織や市民団体と連携することで可能な、新たな CSR 活動のモデルをつくることができました。

◇ 今後どうしたいのか

企業の社会貢献支援は、さらなる実施の余地があります。企業と NPO がセクターを超えて連携した、企業所有の遊休地活用のモデルを具体的に生み出し、他の企業に発信していきます。また、自治体との協働推進事業については、理事や会員、地域の NPO とのコラボを主体に、地方創生と協働を絡めて推進していきます。



2016年度の活動方針③：寄付社会づくりに関する事業

JUNTOS 募金などにご寄付いただいた市民や団体に対し、具体的な成果が見えるような市民コミュニティ財団としての報告のあり方を模索します。

◇ なぜこの事業に取り組んだのか

いばらき未来基金をさらに拡大させ、同基金を通じて様々な市民が茨城の地域課題の解決に参画するきっかけづくりにつなげることをねらいとしました。また、寄付の成果の可視化に取り組むことで、寄付の再循環を狙いました。



◇ 何をどのように変えようとしたのか

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨で被災された方を支援する「JUNTOS 募金」を継続して募集し、活動成果を支援者に発信しようとしてしました。また、平成 28 年熊本地震などで被災された方を支援する「ホープ募金」を新たに設置し、常総での被災経験や支援経験をもとに、被災地同士をつなげようとしてしました。さらに、新たに冠助成に関心を持った茨城県内の企業と助成実績をつくり、社会貢献活動に取り組む県内企業のモデルをつくらうとしてしました。

◇ 何をしたのか

JUNTOS 募金にいただいたご寄付のうち 500 万円を、コモンズが運営するたすけあいセンター「JUNTOS」に助成しました。また、情報誌発行やそのクラウド・ファンディングを通じた冊子印刷などを通じて、活動成果の可視化を図りました。一方、同募金を継続して寄付募集しましたが、コモンズの水害被災者支援活動への直接寄付が多くなり、結果として 2016 年度は 44 万円集まりました。

ホープ募金には、約 100 万円のご寄付をいただきました。そのご寄付を原資とし、常総の水害被災者支援活動で連携し、熊本で活動している 2 団体に計 60 万円を助成することができました。その他、熊本の視察と現地活動団体のネットワークづくり、必要な資材購入にホープ募金を充当しました。



冠助成については、2013 年度より実施している花王ハートポケット倶楽部地域助成にも取り組み、セーフティネットづくりに主眼を置いた助成活動を行い、計 4 団体に総額 50 万円を助成しました。新たに始まった積水化成品工業との冠助成では、同社からの受取寄附金をもとに、県西地域のモデル的環境保全活動に 20 万円を助成しました。また、いばらき未来基金のテーマ助成事業にこれまでいただいたご寄付を原資に、計 5 団体に 80 万円助成することを内定しました。

さらに、日本政策金融公庫、茨城県行政書士会、水戸商工会議所とコモンズが形成する「いばらきソーシャルビジネスサポートネットワーク」として、具体的な融資事例を学び、融資へのチャレンジ意欲を高める「ソーシャルビジネス応援セミナー」を開催しました。助成活動と融資の切れ目ない連携を模索しました。

そのほか、遺贈寄付を推進する全国レガシーギフト協会設立関連行事に参加したり、また遺贈寄付研修及び遺贈アドバイザー養成研修を、関東エリアでちばのWA地域づくり基金と共同

開催することで、遺贈寄付への理解促進と関心を高めました。休眠預金活用法の動向についても、全国市民コミュニティ財団協会や内閣府の説明会参加などを通じて情報収集しました。



◇ どのような成果が得られたのか

たすけあいセンター「JUNTOS」の活動情報を随時発信することで、風化が進む中で、ご寄付の成果と被災地の最新の情報を届けることができました。また、被災された方同士や、その想いを社会に発信する「ぬくもりのバトン」プロジェクトの冊子作成を通じて、地域のつながりづくりにつなげました。

新たな冠助成を実施できたことも成果です。これを他の企業に広めていきます。

また、いばらきソーシャルビジネスサポートネットワークとしての、具体的な動きを生み出すことができました。

◇ 今後どうしたいのか

いばらき未来基金としてのタイムリーな情報発信がこれまで十分ではありませんでしたので、インターンの協力を得ながら、成果報告書以外での、助成対象団体の活動情報発信の多様化に努めます。また、運営委員会参画組織の協力を得ながら、十分ではなかった寄付募集にさらに力を入れます。

2016年度の活動方針④：孤立を防ぎセーフティネットを広げる事業

- 見えない困窮者を支えるため、支援組織が連携しやすい体制とコーディネーター人材をつくります。
- 就労支援のモデル事業として「グッジョブセンターみと」を運営し、若者と事業所をつなぎます。
- 常総市外に避難されている方が、安心して再び常総に戻れるようにします。

◇ なぜこの事業に取り組んだのか

平成 28 年度においても、「生活困窮者自立支援法」施行後の県内自治体では、任意の就労支援事業に携わる機関が少なく、就労支援の出口がほとんどない状況であり、つなぎ先も乏しいのが現状です。相談にも行けず、生活保護も受けられず、また、ハローワークにもすぐ行けない方々の相談に対応するには、段階的な受け入れ先が必要となり、私どもコモンズは、就労困難な若者を、地域の働き手に変える「グッジョブセンターみと」を平成 28 年 1 月からスタート致しました。

◇ 何をどのように変えようとしたのか

社会から排除されがちなひきこもりやニートなどの若者が、仕事と人生に再チャレンジするための道筋と仲介の仕組みを、いばらきコープ生活協同組合や有限会社マルイ装美などとの連携で平成 28 年 8 月より、中間的な就労の体験を実施しております。

【中間的就労の体験から、一般就労や福祉的な就労を目指している】

1. いばらきコープ 生活協同組合（コープデリ水戸センター）

ジョブトレーナーと一緒に 2 人 1 チームで週 1 日、1 日 4 時間で、生協の組合員に配るチラシ約 16,000 枚の印刷作業と、チラシを 3 つ折りに折る作業を実施しています。一人の就労体験の期間は約 2～3 か月、現在までに 4 人の若者が就労体験を実施しています。この就労体験を通して、1 人で応募し、面接まで受けられるよう積極的になりました。

2. 有限会社 マルイ装美

ジョブトレーナー 1 名と若者 3 名の 4 人 1 チームで、1 日 7 時間、福島県檜葉町の帰還解除の一軒家の清掃業務を実施。全員の力で、きれいな家に仕上がりました。この就労体験を通して、清掃業務に雇用された青年がいます。

◇ どのような成果が得られたのか

事例紹介 G さん（20 代 男性） 友人からの相談で、G さんとグッジョブセンターみとのつながりが始まりました。

「グッジョブセンターみと」に来所

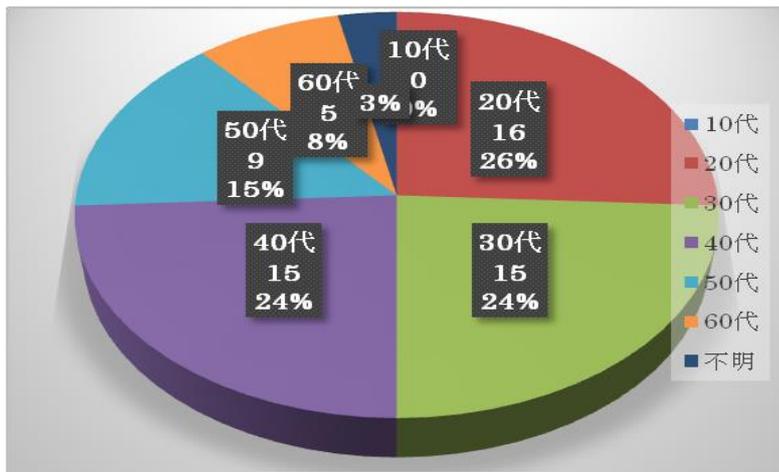
平成 28 年 2 月、G さんは母親と友人と来所、真面目で大人しいという感じが第一印象でした。返事も「はい」と礼儀正しい、しかし無口でした。アルバイトも仕事の経験もなく、大学を中退していました。常総市の水害のボランティアに一度行ってみたいはどうだろうという話に、母親と友人の何もしない子だからという思いを、完全に良い意味で裏切り、「行きたいです」と答え、母親と友人は驚いていました。今まで、足踏みをしていたところから、本人が行ってみたいと自分で決められた瞬間でした。その後、常総市の水害復興のボランティアには何度も出かけて行き、網戸貼り、住宅修繕や、網戸張替えなど、動き出しました。現在は、バートの入力の仕事に就労しながら、通信制の大学のスクーリングに積極的に取り組んでいます。

◇ グッジョブセンターみとのこれまでの実績数値

利用者の分析 平成 28 年 1 月～29 年 3 月

新規登録者数 **62 名** 合計利用者数 **315 名**

月	新規	利用者	ワーク	常総市 ボラン ティア	企業 訓練
28.1月	7	14	0	0	0
2月	10	27	0	10	0
3月	4	22	22	7	0
4月	5	25	6	11	0
5月	2	11	0	6	7
6月	4	19	2	13	0
7月	2	8	3	16	2
8月	4	24	10	10	10
9月	5	21	13	4	9
10月	1	6	10	6	6
11月	8	27	4	7	7
12月	1	23	14	7	9
29.1月	4	27	5	10	11
2月	3	23	15	3	9
3月	2	38	13	0	9
合計	62	315	117	110	79



グッジョブセンターみとの活動

グッジョブセンターみと



相談から仕事への流れ



ワーク 木工教室の様子



水戸フェスタに参加・作品展示販売



常総市の水害復旧作業



グッジョブセンターみと 折り紙教室

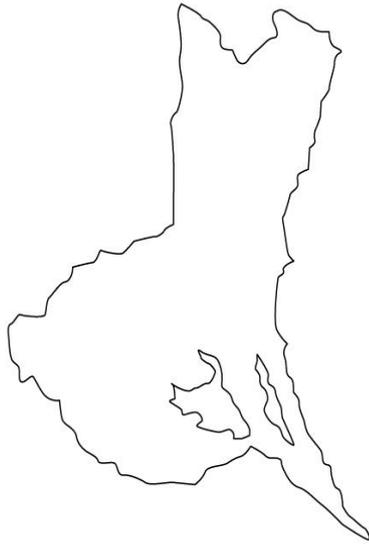


◇ 今後どうしたいのか

平成 29 年度は、更に企業開拓担当者 2 名を配置し、就労体験の場（介護施設や株式会社などにも開拓予定）を拡大し、今後は登録ボランティアが参加型の支援を増やし、多くの人と人をつなぐ「グッジョブセンターみと」に拡大していきます。

最終的な目標は「グッジョブセンター」を茨城県内 5 か所に設置予定！

「生活困窮者自立支援法」の相談の出口である「就労支援」の中間的就労に取り組んでいる行政は、茨城県では残念ながら多くないため、行政と NPO が協力し、担うことによる利点もあります。水戸でグッジョブセンターみとをスタートさせた茨城 NPO センター・コモンズは、今後常総市を県南の拠点とし、県内の提携している NPO とも協力をしながら、県内の下記 4 か所の地域にグッジョブセンターをオープンしていきたいと考えています。



グッジョブセンター県北

グッジョブセンター県南

グッジョブセンター県西

グッジョブセンター鹿行

茨城県

野菜の収穫 自分の持ち味発見スクール・発送作業

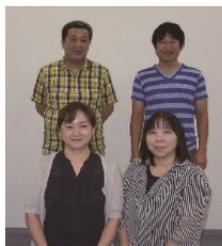


事業名	実施日時	実施場所	実施内容	参加人数	備考
スローク・トーク	11月10日(土) 10:00-12:00	県庁1階 会議室	スローク・トーク	10名	
スローク・トーク	11月17日(土) 10:00-12:00	県庁1階 会議室	スローク・トーク	10名	
スローク・トーク	11月24日(土) 10:00-12:00	県庁1階 会議室	スローク・トーク	10名	
スローク・トーク	12月1日(土) 10:00-12:00	県庁1階 会議室	スローク・トーク	10名	
スローク・トーク	12月8日(土) 10:00-12:00	県庁1階 会議室	スローク・トーク	10名	
スローク・トーク	12月15日(土) 10:00-12:00	県庁1階 会議室	スローク・トーク	10名	
スローク・トーク	12月22日(土) 10:00-12:00	県庁1階 会議室	スローク・トーク	10名	
スローク・トーク	12月29日(土) 10:00-12:00	県庁1階 会議室	スローク・トーク	10名	



平成28年度 浪江町復興支援員の活動について

浪江町役場生活支援課 茨城県駐在



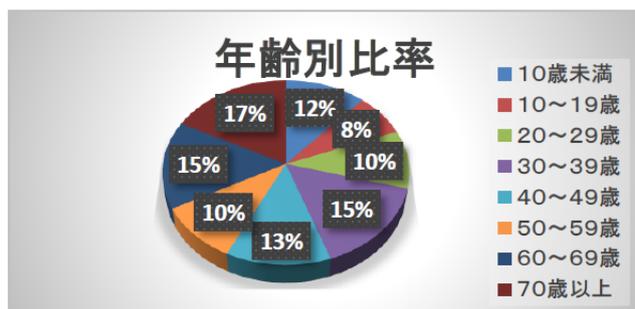
各地の支援団体に、ご協力頂きながら茨城県に避難されている浪江町民の想いに、寄り添った形のサポートを行っており、**戸別訪問・つながる場づくり・各地域での情報発信**の3つを中心に浪江町民と向き合い、不安や悩み、浪江町への想いなど一人ひとりの暮らしの再建に向け「**どこに住んでいても浪江町民**」を合言葉に復興事業を繰り広げています。現在も茨城県には、約1000人、460世帯の町民が生活しております。

(1) 戸別訪問

平成28年度訪問実績

	世帯数	訪問実績	訪問率		世帯数	訪問実績	訪問率
北茨城市	25	15	60.0%	古河市	8	6	75.0%
高萩市	9	1	11.1%	常総市	1	0	0.0%
日立市	78	22	28.2%	坂東市	2	0	0.0%
常陸太田市	5	4	80.0%	石岡市	4	0	0.0%
常陸大宮市	1	1	100.0%	つくば市	49	13	26.5%
那珂市	5	5	100.0%	土浦市	22	17	77.3%
東海村	16	8	50.0%	かすみがうら市	4	0	0.0%
ひたちなか市	41	13	31.7%	阿見町	4	4	100.0%
水戸市	49	44	89.8%	つくばみらい市	8	4	50.0%
城里町	2	2	100.0%	牛久市	7	11	157.1%
笠間市	8	11	137.5%	稲敷市	2	0	0.0%
茨城町	3	6	200.0%	利根町	1	0	0.0%
大洗町	1	0	0.0%	龍ヶ崎市	3	1	33.3%
小美玉市	2	0	0.0%	守谷市	3	2	66.7%
桜川市	2	1	50.0%	取手市	8	6	75.0%
筑西市	29	15	51.7%	鉾田市	4	1	25.0%
下妻市	2	0	0.0%	鹿嶋市	8	6	75.0%
結城市	37	8	21.6%	神栖市	7	0	0.0%
八千代町	1	0	0.0%	合計	461	227	49.2%

・茨城県在住町民年齢別内訳



・対象世帯(65歳以上世帯)
127世帯(全体の28%)

・高齢者世帯内訳 (世帯数)

高齢者単身世帯	17
高齢者夫婦世帯	36
家族同居世帯	74
計	127

・訪問世帯年度実績

118世帯(進捗率:92%)

・浪江町民または双葉郡や相双地区から来た人と気兼ねなくお話しがしたいとの要望が多数あった。

・高齢者だと引き籠りがちになっていることが多い



次年度は近隣者との交流の機会を増やし、現在住んでいる所で近所同士の自主交流のきっかけづくり。

(2) 情報発信(ニュースター発行・ブログ)

ろっこく通信は、隔月で発行しています。

ろっこく通信
6号線は私たちにとって無くてはならないものだったと言うこと。産まれたときからずっと見守ってくれたと言うこと。茨城県と浪江町をむすぶもので、いつでもみんなが繋がっているという事。

ブログは浪江町ホームページ→浪江町復興支援員のページから見れます。

(3) 主な交流会(主催)

年月日	場 所	内 容 人 数	備 考
H28.4.28	ひたちなか市 美かげ	交流会 27人	予想以上の参加者が集まりました。
H28.7.5	取手市 つきじ植えむら	交流会 21人	千葉支援員と合同で開催した為、千葉県からの参加も多数あった。
H28.7.30	水戸市 赤塚ミオス	映画上映会 42人	町民以外の方々も参加されていた
H28.8.6	日立市 県北生涯学習センター	映画上映会 28人	会場の設備にも恵まれた
H28.10.16	ひたちなか市 ワークプラザ勝田	茨城・いわき交流会 136人	町長および町役場関係者も出席され、盛り上がった
H28.11.12	常陸太田市 若駒つりぼりセンター	魚釣り 34人	釣り堀という事もあり、老若男女問わず楽しめた
H28.12.10	つくば市 イノベーションプラザ	映画上映会 17人	参加人数は少なかったが、参加者には好評。他地域での上映会要望有り。
H29.2.14	北茨城市 八幡邸(町民所有)	交流会 19人	地域限定で近隣に避難している町民の交流ができた。
H29.2.21	水戸市 すぎのや本陣	交流会 12人	
H29.2.28	笠間市 ばんどう太郎	交流会 10人	

(4) 他支援組織との連携(実績)

年月日	場 所	組織名称	内 容
H28.6.18	日立市	指定管理 NPOインパクト	”もしも”に備える！サバメシの夕べ講演会
H28.6.24	水戸市	茨城大学ふうあいねっと事務局	「災害復興学」講演会
H28.7.23	鹿嶋市	原子力損害賠償支援機構	損害賠償説明会
H28.8.7	水戸市	浪江町役場	いわき・つくば自治会、浪江町役場との会議
H28.8.27	笠間市	笠間市社会福祉協議会	サマーフェスティバル
H28.8.29	水戸市	NPOセンター・コモンズ [※]	コモンズ全体会議
H28.9.3	笠間市	千葉拠点	笠間市への体験交流会参加
H28.9.13	土浦市	市民ネットワークわくわくプロジェクト土浦	連絡会議
H28.9.27	水戸市	NPOセンター・コモンズ [※]	コモンズ全体会議
H28.9.29	常総市	NPOセンター・コモンズ [※]	福祉講演会
H28.11.14	水戸市	茨城大学ふうあいねっと事務局	手記集出版記念
H28.11.15	水戸市	茨城大学ふうあいねっと事務局	福島県派遣教諭、ふうあいねっと連絡会議
H28.11.17	水戸市	NPOセンター・コモンズ [※]	コモンズ全体会議
H28.12.1	水戸市	NPOセンター・コモンズ [※]	セーフティネット支援者交流会
H28.12.5	東京	東北圏地域づくりコンソーシアム	拠点研修
H28.12.13	水戸市	茨城県社会福祉協議会	福島県復興支援運営協議会
H28.12.26	水戸市	NPOセンター・コモンズ [※]	コモンズ全体会議
H29.1.27	ひたちなか市	浪江町役場	一部避難指示解除に伴う説明会
H29.2.7	東京	浪江町役場	一部避難指示解除に伴う説明会
H29.3.2	水戸市	社会福祉法人 光風会	座談会
H29.3.7	水戸市	茨城県社会福祉協議会	福島県復興支援運営協議会
H29.3.11	土浦市	市民ネットワークわくわくプロジェクト土浦	心のあかりプロジェクト
H29.3.11	水戸市	茨城大学ふうあいねっと事務局	東日本大震災追悼式

水害からの生活再建支援と地域再生の実践



たすけあいセンター「JUNTOS」

www.juntos-joso.org

0

地域復興のための課題 空き家、人口流出、孤立と分断

- ・壊れた家や災害ゴミ、浸水の跡が見えなくなり表面的には以前の街並みに戻った。3日間泥水に浸かった家のダメージ（床上数10cmでも500万円以上）は想像以上。
- ・「被災生活」が続いていることや、「支援金不足による経済的問題が大きいことが見えにくい
- ・元の生活に戻れた人と、戻れない人、帰る家がまだない人の格差、気持ちの温度差が拡大している
- ・災害に備える動きが鈍く、被災経験が風化しつつある
- ・転出者や空き地が増え地域が暗く、ひっそりしている
- ・店や集会施設が減り、人の交わりが減っている
- ・高齢者のひきこもり傾向、認知症リスクが高まっている
- ・オーナーが改修も解体も出来ない家、アパートがそのままになっている。

1

復興期の課題

個々の生活再建と住宅と地域の再生

- ・ **住む場所の確保**
アパートが治っていない、又は自宅を再建できない人の住宅確保（市営住宅不足分は民賃の家賃補助を）
- ・ **高齢世帯などの生活支援**
（送迎、庭掃除や片付けの支援、余暇、見守り）
- ・ **空き家を修復・活用し住民が集える拠点づくり**
（引きこもり防止、介護予防、まちの保健室、子ども食堂、認知症カフェ、多世代・多文化交流拠点に）
- ・ **災害に備えた地域づくり**
（一時退避施設を設定した避難マップ作成と避難訓練、地区単位での多言語メール配信で情報共有）
- ・ **被災経験の発信と防災の事業化**
（視察受入れ、記録出版、オリジナル防災グッズ作成）

2

つくばに避難している方とともに



2015年12月からつくばに避難した方の茶話会を市民大学と連携して継続し、常総市に戻るための家探し、引っ越し支援などを行ってきました

ジュントスからのお知らせ
常総市に避難した方へ、避難生活を送る中で困りごとや不安を感じておられる方へ、つくばから常総市へ戻るための家探しや引っ越し支援などを行います。



紅葉狩り

3

空き家リノベーションと 新たな長屋作り

- ・改修費支援と入居者が見込めれば、改修できるアパートや一軒家は街中に多数存在し、直したいオーナーもいる。
- ・改修費を「家守会社」が負担し、家賃で返済するモデルを作ればオーナーが直せないでいる不動産を再生できる。
- ・課題は改修費を抑え、入居者をどう確保するか
- ・リノベーションスクールを行うことで、家づくりを手伝うボランティア、自ら直して移住する人を呼び込める。
- ・空き家再生で新しいアパートにはないものを付加する。（シェアハウス、飲食、交流スペース、福祉長屋のような共同生活ができる空間、見守り・仕事があるなど）

4

橋本町の診療所と母屋の改修



5

活躍する学生ボランティア



ランチは特製スリランカ・カレー

6

最後まで地域で暮らせる生活支援

- ボランティア送迎はオンデマンド交通を利用出来ない人の**移動保障**。**住民参加**で**継続**させる。
- 庭の清掃や片付け、家の改修などは就労訓練を受けている**若者**や**障害がある人も活躍**できる
- 地域とNPO、社協などが協力して誰でもこられる「**サロン**や**食事会**」を開けば、外出しにくい人も来られ、顔が見える**関係性**が作れる。
- **外国籍住民の中からサポーターを養成**したり、地域で**小規模保育**をして助け合いの輪に入れる。

7

空き家を再生した交流拠点



再生からもうすぐ1年



レストラン跡地は空き地のまま



自家製干しいもは大好評



8

人をつなぐ農園・食事・ヤギ



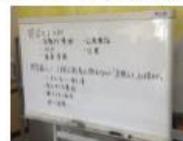
9

地区防災のモデル地域に

- 自治会と連携し、避難に関する全世帯調査
- 水害時の**一時退避施設**の設定
- 避難経路を考えるまち歩きと**避難マップ**作成 (タイムライン+自分が逃げる先を決める)
- **学校での避難所開設ゲーム (HUG) 訓練**
- 避難所にあるべき**資機材の設置と開設訓練**
- 地区SMS配信の体制作り (多言語で)
- 外国籍住民も含めた**避難訓練**の実施
- 学校・地域で**避難所運営マニュアル**づくり
- オリジナル災害用キットの商品化

10

安心を取り戻すための避難地図づくり



何を調べるか説明



グループで危険箇所を確認



市長「自主防災のモデルに！」



気づいたことを地図に

2016年度の活動方針⑤：学ぶ権利と機会を広げるための事業

JUNTOS ハウスを基盤として、総合的かつ継続的に常総の子どもたちの学習環境向上に取り組みます。

◇ なぜこの事業に取り組んだのか

茨城県常総市は、人口 64,181 人の約 7% を外国人住民が占めており（平成 29 年 4 月 1 日現在）、市内小中高校には外国につながる子どもが多く在籍するほか、外国人学校から公立校へ移る子どもや、新規来日する子どもも増えています。外国につながる子どもたちとその保護者、子ども達が通う学校と連携し、より多くの関係者がかれらの教育環境向上を目指して取り組む状況をつくるために、2016 年度は民間助成金（花王ハートポケット倶楽部助成プログラム、HSBC による Project HEAT、福祉医療機構助成金）をいただき、自主事業として就学支援を行いました。

◇ 何をしたのか

2015 年 9 月の水害で常総の拠点は水没しましたが、地域の方や多くのボランティアのご協力で学習支援拠点「JUNTOS ハウス」を 2016 年 4 月に新設することができ、2016 年度はここを拠点に常総の子どもたちの学習環境向上に取り組みました。

外国につながる小中高校生を対象としたアフタースクールの再開や、キャリア支援などの実施のほか、高校進学ガイダンス・教員情報交換会・プレスクール・通訳派遣や文書翻訳のコーディネート、個別相談対応などを、学校関係者や行政、地域内外の団体と連携しながら行いました。その結果、教育関係機関とのつながりを強化するとともに、外国につながる子どもたちの高校進学や学校生活への適応を支援することができました。

◇ 活動の成果

- 放課後の補習教室・日本語学習教室「アフタースクール」を週に 3 クラス運営したほか、夏休みには実験や天体観測等、外部講師による「サマースクール」を 7 回開講し、外国籍児童生徒の学校適応や学習機会の充実、高校進学に貢献しました。
- 常総市教育委員会や他市教育委員会、国際交流協会や地域の小中学校・県立高校と連携し、常総市を含む県内 3 市で外国人親子向けの高校進学ガイダンスを実施し、常総市内のみならず他地域の外国人住民にも高校進学に関する情報を届けることができました。
- 東日本大震災で被災した宮城県七ヶ浜町で活動している団体からの招待を受け、「七ヶ浜防災スタディツアー」に協力・参加しました。日本人児童生徒を含む常総の子どもたちが参加し、七ヶ浜の子どもたちと交流を深め、防災について学びました。
- 市内教員や特別支援学校教員の情報交換会を開催し、教材の研究や特別な支援を必要とする外国人児童生徒への対応について協議しました。
- アフタースクールを支援しているボランティアへの研修を実施し、常総の子どもたちが抱える課題や、その解決のためにできることを一緒に考えました。
- 次年度新入学予定の外国籍児童とその保護者に向けて、「プレスクール」を通訳付きで実施しました。子どもたちには学校で使う日本語や掃除の仕方などを学習する機会を、保護者には書類の記入方法や入学準備などを知る機会を提供し、参加者の学校生活への早期適応に貢献しました。
- 外国人住民の生活相談に対応し、情報の提供や関係機関への案内、手続きの補助などをしました。
- 2016 年度中、個別学習支援 30 件、外国人相談 70 件（教育、福祉、家族関係中心）に対応しました。



アフタースクール



外国人向け高校進学ガイダンス



サマースクール



七ヶ浜防災スタディツアー



ボランティア研修



進学ガイダンス主催者交流会



プレスクール



年度末合同お楽しみ会

事業実績（2016年4月1日から2017年3月31日まで）

以下、茨城 NPO センター・コモンズ定款第 5 条（事業）を抜粋。

第 5 条

この法人は、第 3 条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 民間非営利活動及び民間非営利組織に関する情報の収集及び提供
 - (2) 民間非営利活動及び民間非営利組織に関する調査及び研究
 - (3) 民間非営利活動及び民間非営利組織に関する支援事業
 - (4) 寄付の推進及び仲介事業
 - (5) 災害被災者支援に関する事業
 - (6) 介護等の人材育成及び資格取得支援事業
 - (7) 学ぶ権利と機会を広げるための事業
 - (8) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項に掲げるもののほか、その他の事業として次の事業を行う。
- (1) 前項に掲げる事業に関連する物品の斡旋及び販売
 - (2) 前項に掲げる事業に関連する役務の提供
- 3 前項に掲げる事業は、第 1 項に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、その収益は、第 1 項に掲げる事業に充てるものとする。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
5-1	①市民組織の運営支援	講師派遣	東京ボランティア・市民活動センター主催：「地域に根ざす中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾」に関する検討会に参加	多数の日程	東京ボランティア・市民活動センター	地域住民やボランティア・市民活動団体と共に地域づくりをすすめる組織(中間支援組織)のスタッフ	
5-1	①市民組織の運営支援	講師派遣	日本 NPO センター理事会に出席	多数の日程	東京	日本 NPO センター	
5-1	①市民組織の運営支援	フードバンク茨城運営支援	理事会や実務者会議、全国会議などへの参画を通じた組織運営支援やフードバンク・セミナーの企画運営など	多数の日程	フードバンク茨城事務所など	NPO 法人 フードバンク茨城	
5-1	②持続可能な地域づくり	地域円卓会議の普及	地域円卓会議の協議(移動困難者の外出・買い物支援)より生まれたアイデアであるタウン・モビリティを「水戸まちなかフェスティバル」にて実施。またそのための企画打ち合わせ	多数の日程	水戸市中心市街地、トモスミと	移動困難者	
5-1	②持続可能な地域づくり	地域円卓会議の普及	地域円卓会議普及のための講演会で講演	5月31日	新潟県内	新潟の消費生活アドバイザー	約 200 名
5-1	②持続可能な地域づくり	地域円卓会議の普及	地域円卓会議普及のための講演会で講演	7月7日	埼玉県内	生協関係者	約 100 名
5-1	②持続可能な地域づくり	共助社会づくりフォーラム in 茨城	災害時の組織間連携をテーマとした共助社会づくりについて協議、また当日に向けた実行委員会の開催	多数の日程	茨城県三の丸庁舎	コミュニティ組織や市民活動団体、各自治体の防災担当課、企業や組合組織、その他ご関心のある方	約 70 名
5-1	②持続可能な地域づくり	身近な環境の保全体験セミナー	工場内雑木林の活用に向けた自発的な人材の発掘、組織化及び活動メニューづくりを会員 NPO と連携して実施	多数の日程	日立製作所水戸事業所	日立製作所及び日立ビルシステム社員	のべ約 100 名

定款 条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実 施日	当該事業の実 施場所	受益対象者 の範囲	人数
5-1	②持続可能な地域づくり	里山整備体験&焼きイモ大会	白石製作所からの受取寄附金をもとに、里山を守る会とともに同行事の実施及び調整	多数の日程	古河市	地域住民、白石製作所社員	約110名
5-1	②持続可能な地域づくり	企業CSR支援	社会貢献活動に関心のある企業への情報提供	多数の日程	水戸、常総市内	社会貢献活動に関心のある企業	
5-1	②持続可能な地域づくり	企業CSR支援	茨城県経営者協会の地域関係委員会での市民活動事例紹介	3月7日	茨城県産業会館	社会貢献活動に関心のある企業	
5-1	②持続可能な地域づくり	取手市市民協働シンポジウム「健康づくり×地域づくり」	地域円卓会議形式の同シンポジウムの企画運営や進行	多数の日程	取手ウェルネスプラザ	取手市民やコミュニティ関係者	約50名
5-1	②持続可能な地域づくり	自治体職員対象の協働研修	左記の研修の企画・実施	多数の日程	取手市、常陸大宮市	自治体職員	約80名
5-1	②持続可能な地域づくり	講師派遣	「水戸市地域福祉ファシリテーター養成研修」への講師派遣及び開催のための調整	多数の日程	水戸市福祉ボランティア会館	水戸市社会福祉協議会職員など	約30名
5-1	②持続可能な地域づくり	平成29年度NPO関連予算公開ヒアリング	同行事に参加し情報収集	3月1日	民進党本部		
5-1	②持続可能な地域づくり	ESDの推進	水戸市環境フェスタでESD活動に関する出展	6月5日	茨城県三の丸庁舎内広場	ESDに関心のある市民	
5-1	②持続可能な地域づくり	ESDの推進	関東ESDパートナーズミーティングに参加	12月16日	東京ウイメンズプラザ		
5-1	②持続可能な地域づくり	ESDの推進	地方ESD活動支援センター（仮称）設置準備委員会に委員派遣	多数の日程	地球環境パートナーシッププラザ		
5-1	②持続可能な地域づくり	ESDの推進	関東地方環境パートナーシップオフィスのアドバイザー会議に出席	3月23日	関東地方環境パートナーシップオフィス事務所	関東地方環境パートナーシップオフィス	5名
5-1	②持続可能な地域づくり	つくば市民大学運営支援	運営委員会、幹事会、総会などへの参加を通じた運営支援	多数の日程	つくば市民大学	ユニベルシタスつくば	
5-1	②持続可能な地域づくり	セカンドリーグ茨城の運営支援	監事として運営支援	多数の日程	茨城県労働福祉会館	同団体職員	2名
5-1	②持続可能な地域づくり	事例調査	ハウジングアンドコミュニティ財団主催「住まいとコミュニティづくりNPO交流会」にて、常総での活動報告と遊休不動産活用事例の収集	9月10日	フラクシア東京ステーション		
5-1	④セーフティネット	茨城福祉移動サービス団体連絡会運営支援	会長として総会などに出席	6月17日	水戸市内	同連絡会会員	
5-1	④セーフティネット	まごころねっとわーく運営支援	監事として運営支援	7月20日	ひたちなか市内	同団体職員	
5-1	④セーフティネット	委員派遣	セーフティネットづくりに取り組む県内団体のネットワーク組織「ツナガルねっと」に参加	多数の日程	茨城県総合福祉会館		
5-1	④セーフティネット	グッジョブセンターみと	中間的就労のための職場開拓と就業体験メニューの開発及び実施、調整	随時	トモスみと4階	ひきこもりがちな青年など	
5-1	④セーフティネット	NPO マナビヤ	未来塾の開催など 第1回：「社会活動家としての市民の役割」 社会活動家 湯浅 誠 氏 第2回：「地域で暮らし続けるため、どのような場や仕組みをつく	多数の日程	トモスみと、常総市内	制度外福祉活動や、福祉制度の動向に関心のある市民団体	のべ数百名

定款 条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事 業の実 施日	当該事業の実 施場所	受益対象者 の範囲	人数
			るか NPO 法人 全国コミュニティ ライフサポートセンター (CLC) 理事長 池田 昌弘 氏 第3回:「日本語を母語としない 若者の自立支援」 NPO 法人 青少年自立援助セ ンター 定住外国人子弟支援事 業部 統括コーディネーター 田 中 宝紀 氏 第4回:「住まいのセーフティ ネットづくり」 神戸大学大学院 人間発達環境 学研究科 教授 平山 洋介 氏 第5回:「支援付き住宅と「見守 り」をどう実現するか」 NPO 法人自立支援センター ふるさとの会 代表理事 佐久 間 裕章 氏 第6回:「広がれ、こども食堂の 輪! 全国ツアー in 茨城」 詳細は以下参照				
5-1	④セーフテ ィネット	様々な社会的困 難を抱える個人 対象の電話相談	電話相談事業運営及びそのための 企画打ち合わせ、関連会合参加、 準備作業、相談者対象研修開催 など	多数の 日程	水戸市内	様々な社会的困 難を抱える個人	
5-1	④セーフテ ィネット	よりそいホット ライン事業報告 会	同事業の報告会の開催及び調整	7月16 日	トモスミと	同事業に関心のある行政職員や 社会福祉協議会、 市民団体など	約60 名
5-1	④セーフテ ィネット	県央ブロック セーフティネット をつくるための 支援者交流会	生活困窮者支援などに関わる団 体の交流会開催	12月1 日	トモスミと	生活困窮者支援 などに関わる団 体	約30 名
5-1	④セーフテ ィネット	広がれ、こども食 堂の輪! 全国ツ アー in 茨城	同行事の開催及び調整	多数の 日程	トモスミと	こどもの居場所 づくりに関心のある市民や団体	約200 名
5-1	④セーフテ ィネット	県内こども食堂 実態調査	こども食堂設立に向けた会合への 参加や、県内こども食堂を対象 としたアンケート調査の実施及 び報告書の作成	多数の 日程	こども食堂の 活動場所など	こどもの居場所 づくりに関心のある市民や団体	
5-2	①市民組織 の運営支援	第34回「ボラン タリズム推進団 体会議 in 茨城」 (民ボラ)の開催	同会議の企画、運営、世話人会への 参加	多数の 日程	トモスミと	全国の中間支援 組織など	約70 名
5-3	①市民組織 の運営支援	NPO 法人や市民 活動団体の設立 や解散などの運 営相談対応	左記のとおり	多数の 日程	茨城県労働福 祉会館、 JUNTOS ハウ スなど	設立を希望する 市民・団体	
5-3	①市民組織 の運営支援	会計支援	決算に向けた会計支援などを個 別に実施	多数の 日程	支援対象団体 の事務所など	NPO 法人	約10 名
5-3	①市民組織 の運営支援	NPO 会計基礎セ ミナー	簿記の基礎などを学ぶ同セミナー 開催及び調整	多数の 日程	つくば市民大 学	NPO 法人やボラ ンティア団体の 会計担当者、理事 など関係者	
5-3	①市民組織 の運営支援	NPO 事務力セミ ナー及び検定	岡山 NPO センターと連携し、同 行事の開催及び調整	多数の 日程	つくば市民大 学	NPO 法人	約20 名
5-3	①市民組織 の運営支援	NPO 事務支援セ ンター設立に向 けた調査	「全国 NPO 事務支援カンファレ ンス」への参加	2月2 日	日本財団ビル		
5-3	①市民組織 の運営支援	NPO 会計・労務 寺子屋	会計や労務に関する団体同士の 相談対応	多数の 日程	トモスミと	NPO 法人	約10 名

定款 条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実 施日	当該事業の実 施場所	受益対象者 の範囲	人数
5-3	①市民組織 の運営支援	NPO 組織基盤強 化セミナー	NPO 法改正、会計、税務、労務、 マイナンバーなどをテーマに同 セミナーを企画運営	多数の 日程	鹿嶋市まちづ くり市民セン ター 生涯学習セン ター総和 つくば市民大 学 水戸市福祉ボ ランティア会 館 日立市会瀬青 少年の家	NPO 法人や自治 体の市民活動支 援担当者、NPO 法人支援に関心 のある会計専門 家など	約 120 名
5-3	①市民組織 の運営支援	ソーシャルビジ ネス応援セミナ ー	市民団体への融資促進のための 企画の開催及び調整	多数の 日程	トモスミと	NPO 法人など	約 15 名
5-3	①市民組織 の運営支援	広報支援	広報や資金調達計画作成、ウェブ サイト作成の支援	多数の 日程	支援対象団体 の事務所など	NPO 法人	4 名
5-3	①市民組織 の運営支援	「助成金申請の コツ」セミナー	生活協同組合 パルシステム茨城 「くらし活動助成基金」申請時期 と連動させた、同セミナーの開催 及び調整	多数の 日程	茨城県労働福 祉会館、つくば 市民大学	助成金申請に関 心がある市民活 動団体	約 30 名
5-3	①市民組織 の運営支援	全国の市民活動 支援組織との連 携	CEO 会議への参加	多数の 日程	東京		
5-3	①市民組織 の運営支援	NPO 法人会計基 準協議会の運営 支援	同協議会に事務局長として横田 代表理事を派遣	多数の 日程	東京	全国の NPO 法 人	
5-3	①市民組織 の運営支援	講師派遣	きょうされん茨城支部にて、秋元 監事による会計講座の実施及び 調整	多数の 日程	水戸市福祉ボ ランティア会 館など	同団体に加盟す る障がい福祉団 体	
5-3	①市民組織 の運営支援	講師派遣	「組織運営能力アップ！研修会」 の企画、運営、講師	多数の 日程	水戸市福祉ボ ランティア会 館	NPO 法人など	約 15 名
5-3	①市民組織 の運営支援	講師派遣	「鹿嶋市市民活動団体研修会」の 企画、運営、講師	多数の 日程	鹿嶋市まちづ くり市民セン ター	NPO 法人など	約 25 名
5-3	①市民組織 の運営支援	市民活動基盤整 備のための委員 派遣	JT NPO 助成事業贈呈式での助 言	5 月 23 日	ホテル・ザ・ウ エストヒル ズ・水戸	同助成金の助成 対象団体	1 団体
5-3	①市民組織 の運営支援	市民活動基盤整 備のための委員 派遣	非営利組織評価センターの評議 員会への出席	6 月 16 日	東京		
5-3	①市民組織 の運営支援	市民活動基盤整 備のための委員 派遣	生活協同組合 パルシステム茨城 「くらし活動助成基金」の助成金 審査やそのための企画打ち合わ せ、申請事業案への助言、助成対 象団体への訪問など	多数の 日程	茨城県労働福 祉会館	茨城県内の市民 活動団体	
5-3	①市民組織 の運営支援	市民活動基盤整 備のための委員 派遣	中央ろうきん助成プログラムで の助成審査及びフォローアップ ミーティングへの参加	多数の 日程	東京	助成申請した NPO 法人	約 40 名
5-3	①市民組織 の運営支援	市民活動基盤整 備のための委員 派遣	「中央ろうきん若者応援ファン ド」での助成審査	多数の 日程	東京		
5-3	①市民組織 の運営支援	市民活動基盤整 備のための委員 派遣	常陽銀行公益信託「エコーいば らき」環境保全基金助成金の審査 など	多数の 日程	茨城県内	茨城県内の市民 活動団体	
5-3	②持続可能 な地域づく り	介護保険制度改 正に伴う地域支 援事業への移行 支援	茨城県新地域支援推進協議会 の会議や行事へ委員として参画し、 地域での助け合いを推進	多数の 日程	水戸市、下妻市		
5-3	②持続可能 な地域づく り	市民活動基盤整 備のための委員 派遣	茨城県の伝統文化財保護の助成 金審査	多数の 日程	茨城県庁など	茨城県の伝統文 化財保護活動を 行う市民団体	

定款 条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事 業の実 施日	当該事業の実 施場所	受益対象者 の範囲	人数
5-3	②持続可能な地域づくり	市民活動基盤整備のための委員派遣	水戸市市民協働提案制度「わくわくプロジェクト」で水戸市協働推進委員として審査や打ち合わせ	多数の 日程	水戸市内	水戸市や水戸市内の市民活動団体	
5-3	②持続可能な地域づくり	市民活動基盤整備のための委員派遣	鹿嶋市市民活動支援制度で委員として審査・助言など	10月 20日	鹿嶋市役所	鹿嶋市や鹿嶋市内の市民活動団体	
5-3	②持続可能な地域づくり	市民活動基盤整備のための委員派遣	水戸生涯学習センター運営委員会に参加	12月6 日	水戸市内		
5-3	②持続可能な地域づくり	市民活動基盤整備のための委員派遣	茨城県ボランティアセンター運営委員会委員として助成審査	多数の 日程	茨城県総合福祉会館	茨城県社会福祉協議会	
5-3	②持続可能な地域づくり	市民活動基盤整備のための委員派遣	茨城県社会福祉協議会評議員として評議員会に出席	5月27 日	茨城県総合福祉会館	茨城県社会福祉協議会	
5-3	②持続可能な地域づくり	市民活動基盤整備のための委員派遣	茨城県共同募金会評議員として評議員会に出席	多数の 日程	茨城県総合福祉会館	茨城県共同募金会	
5-4	③寄付社会づくり	いばらき未来基金への寄付募集	市民や企業、生協などへの寄付募集活動実施。大型行事での出展などによる寄付募集活動など	多数の 日程		市民や企業、生協など	不特定 多数
5-4	③寄付社会づくり	第2回テーマ助成	同助成事業の公募、審査など	多数の 日程	トモスミとなど	申請した市民団体	
5-4	③寄付社会づくり	いばらき未来基金助成事業	花王・ハートポケット倶楽部地域助成の茨城ブロックの事務局代行に伴う作業	多数の 日程	水戸市内	助成対象となる市民活動団体	
5-4	③寄付社会づくり	いばらき未来基金助成事業	積水化成工業「積水化成基金」助成事業の事務局代行に伴う作業	多数の 日程	水戸市内	助成対象となる市民活動団体	
5-4	③寄付社会づくり	寄付つき商品の開発・販売	会員団体が作成したひらがな練習帳や英単語カレンダー販売を通じた寄付募集	多数の 日程		同商品に関心のある市民	
5-4	③寄付社会づくり	遺贈寄付の推進	全国レガシーギフト協会設立行事に参加、及び遺贈寄付研修、遺贈アドバイザー養成研修を開催	多数の 日程	東京	遺贈に関心のある市民や団体	約100 名
5-4	③寄付社会づくり	他地域の市民コミュニティ財団の情報収集	全国コミュニティ財団協会、市民ファンド推進連絡会などの会合に出席し、情報提供・収集	多数の 日程	東京など		
5-4	③寄付社会づくり	先進事例調査	市民ファンド推進プログラム第1回研修会などに参加	2月17 日	SOOO dramatic!		
5-4	③寄付社会づくり	休眠預金活用法の動向調査	内閣府説明会に参加	3月13 日	中央合同庁舎8号館		
5-4	③寄付社会づくり	休眠預金活用法の動向調査	休眠預金未来構想プラットフォームに参加	3月27 日	東京		
5-4	③寄付社会づくり	いばらき未来基金運営委員会	同委員会開催	7月29 日、3 月30 日	トモスミと、たすけあいセンター「JUNTOS」		
5-5	②持続可能な地域づくり	SDGsの普及	常総の水害被災者支援活動を例に、SDGsとの関連についてヒアリングを通じ情報提供	12月9 日	JUNTOSハウス	SDGsに関心のある市民	
5-5	④セーフティネット	浪江町復興支援員の活動支援	県内に避難している同町民の訪問支援などを行う復興支援員の活動を側面的に支援（個別訪問、関係機関との連携、交流会、広報誌発行など）	常時	コモンズ事務所など	浪江町復興支援員	4名
5-5	④セーフティネット	福島からの避難者を支える団体ネットワーク「ふうあいねっと」の運営支援	同団体の会議出席などによる側面的支援を実施	多数の 日程	茨城大学内	福島から避難している方々約4,000人	

定款 条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事 業の実 施日	当該事業の実 施場所	受益対象者 の範囲	人数
5-5	④セーフ ティネット	ホープ募金	熊本地震で被災された方を支援 するための募金活動や、支援団体 のネットワークづくり	多数の 日程	熊本県内	熊本で被災され た方	
5-5	④セーフ ティネット	岩手県岩泉町へ の被災者支援活 動	常総の水害被災者支援活動の経 験や関係性を活かし、岩泉町の水 害被災者支援活動を実施	多数の 日程	岩手県岩泉町	被災された住民	
5-5	④セーフ ティネット	『JUNTOS 通 信』発行	被災者に必要な情報を届けるか わら版を発行	多数の 日程	常総市内	常総で被災され た方	
5-5	④セーフ ティネット	ラジオ JUNTOS	ラヂオつくばと連携し、多言語で 生活情報を発信する番組を作成	多数の 日程	常総市内	常総で被災され た方	
5-5	④セーフ ティネット	市民レポーター 養成講座	ラジオ JUNTOS で情報を発信す る市民レポーターを要請する講 座を開催	多数の 日程	常総市内	市民レポーター として活動を希 望する市民	
5-5	④セーフ ティネット	常総の視察及び 取材対応	水害の経験を他地域に伝えるた め、団体の視察や取材に対応	多数の 日程	常総市内		5名
5-5	④セーフ ティネット	寄付募集	企業と連携し、常総の現状を伝え ながら寄付を募集する行事の開 催及びその調整	多数の 日程	イオンモール つくば内のラ ッシュジャパ ン店舗	同店舗来店者	約 20 名
5-5	④セーフ ティネット	被災地ボラン ティアのコーデ ィネート	企業新入社員研修の一環として、 常総の水害被災者支援活動体験 をコーディネート	4月 25 日	常総市内	企業の新入社員	20名
5-5	④セーフ ティネット	ジュントス移動 支援	全国の移動支援団体と連携し、通 学・通院などを支援	多数の 日程	常総市内	常総で被災され た方	
5-5	④セーフ ティネット	移動支援ボラン ティア講習会	上記活動に参加するボランティア のための講習会	1月 22 日	常総市生涯学 習センター	移動支援ボラン ティアに関心のある市民	8名
5-5	④セーフ ティネット	みんなが集える 家プロジェクト	同企画の開催及び調整	多数の 日程	旧片野医院	古民家に興味のある市民、修繕体 験を希望する市民	約 50 名
5-5	④セーフ ティネット	「ぬくもりのパ トン」プロジェク ト	被災された方に寄付で購入した 電気毛布を届け、被災してからの 生活などに関するアンケートを 書いてもらい、その声を冊子とし て編集した。その冊子編集・印刷 代をクラウドファンディングで 資金調達した	随時	インターネット 上	常総の被災者支 援に関心のある 市民	168名
5-5	④セーフ ティネット	被災者交流会	常総からつくばに避難した住民 の交流会の開催	多数の 日程	つくば市など	常総からつくば に避難した住民	各回 10名 程度
5-5	④セーフ ティネット	多文化交流オリ ンピック観戦	被災した常総市民が交流する機 会として、オリンピックの男子サ ッカー決勝を外国人住民も交え て観戦する交流会を開催及びそ の調整	多数の 日程	JUNTOS ハウ ス	常総市民	約 50 名
5-5	④セーフ ティネット	地区ごとの避難 マップ作成のため のまち歩きワー クショップ	水害時に歩いて避難できる一時 退避施設の設定と避難マップづ くり	多数の 日程	常総市内	避難マップ作成 に関心のある方	20名
5-5	④セーフ ティネット	9.10を繰り返さ ない地区防災計 画をつくる勉強 会	同行事の企画、開催支援	多数の 日程	常総市内	常総市民など	
5-5	④セーフ ティネット	災害時の避難訓 練	中学校や障がい者施設での避難 所運営ゲーム実施を通じて災害 時の対応を訓練	多数の 日程	常総市内		
5-5	④セーフ ティネット	復興寺子屋「住民 一人ひとりの参 加による地域の 復興」	神戸で市民版の復興計画を作る などして市民の声を行政計画に 反映させたり、市民が必要として いる事業の具体化を支援してき	4月 23 日	常総市役所 議 会棟 2階	被災地復興に関 心のある市民	15名

定款 条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実 施日	当該事業の実 施場所	受益対象者 の範囲	人数
			た松本 誠氏（市民まちづくり研 究所 所長）の講演会				
5-5	④セーフテ ィネット	福祉長屋の設立 準備	旧ビジネスホテル北水海道の改 修及び他地域の事例や制度に関 する情報収集など	多数の 日程	旧ビジネスホ テル北水海道、 旧片野医院	常総で被災され た方	
5-5	④セーフテ ィネット	「最後まで自分 らしく、楽しく暮 らせる共同の家 づくり」ワークシ ョップ	同行事の開催及び調整	6月28 日	常総市内	福祉長屋に関心 のある市民	20名
5-5	④セーフテ ィネット	宮城県七ヶ浜町 バスツアー	被災地間の児童生徒の交流企画 の開催及び調整	多数の 日程	宮城県七ヶ浜 町	常総で被災され た方や児童生徒	
5-5	④セーフテ ィネット	先進活動地の視 察	長岡震災アーカイブセンター「き おくみらい」や中越メモリアル回 廊の視察	8月2 日	新潟県内		
5-5	④セーフテ ィネット	災害時の連携推 進	「行政とボランティア連携訓練」 に参加	1月24 日	新潟県自治会 館		
5-5	④セーフテ ィネット	常総の復興に関 わる団体の情報 交換会	同企画の開催及び調整	多数の 日程	水海道公民館	常総の復興に関 わる団体	20名
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	震災がつなぐ全国ネットワーク 「移動寺子屋 in 常総市」で講演	6月5 日	常総市役所	被災地支援活動 に関心のある市 民	40名
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	茨城県防災ボランティアネット ワーク総会及び研修会に出席	6月9 日	日本赤十字社 茨城支部		
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	「みんなで防災@つくば 災害へ のこころがまえ ～常総の水害被 災者の声から学ぶ～」での話題提 供	7月3 日	つくば市民大 学	防災に関心のある市民	
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	「協働のまちづくりワークショ ップ ～災害が起きた時、西東京 市で何ができるか話し合おう！」 での事例提供	7月19 日	西東京市防災 センター	西東京市の市民 活動団体、西東京 市職員	約60 名
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	「災害とボランティア活動①」 で、常総での取り組みを紹介	7月27 日	県北生涯学習 センター	災害ボランティ ア活動に関心のある市民	15名
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	第4回：「都市の共同性研究会 ～常総市での災害復興と人的多 様性を活かしたまちづくり～」で の講演	10月 26日	茨城大学 常陽 亀山記念館		6名
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	「地域の課題に対して大学はど のように向き合うか ー多文化 共生と原発震災」での事例発表	11月 13日	宇都宮大学 峰 キャンパス 大 学会館		30名
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	上越市社会福祉大会防災フォー ラム：「災害弱者をつくらない ～助けてといえない人がいる～」 での事例発表	11月 13日	リージョンプ ラザ上越	テーマに関心のある市民	数百名
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	日本NPOセンター主催の常総支 援に関する振り返り会議で事例 発表し、災害時の中間支援組織の 連携について協議	11月 22日	日本NPOセン ター会議室	全国の民間中間 支援組織	約20 名
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	市民セクター全国会議2016の 「分科会2 レジリエンス～危機 に対応できる地域 「住民の声 を聴き、地域主体のまちの姿を描 く」での事例発表	11月 23日	聖心女子大学	テーマに関心のある市民団体	20名
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	全国被災地交流集会「円卓会議 ー地域衰退に立ち向かうー」での 事例紹介	1月8 日	関西学院大学 西宮上ヶ原キ ャンパス 関 西学院会館	被災地復興に関 心のある市民	約50 名

定款 条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事 業の実 施日	当該事業の実 施場所	受益対象者 の範囲	人数
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	「関東 ESD 学び合いフォーラム 2016 ～地域の課題に ESD が 効く！～」にて常総の水害被災者 支援活動の事例紹介	1月9 日	東京ウイメン ズプラザ		約50 名
5-5	④セーフテ ィネット	講師派遣	「被災者生活支援フォーラム 2016 ～関東・東北豪雨で行政 ・NPO・社協は協働できたの か～」での講演	1月23 日	高知県立ふく し交流プラザ	NPO 法人役職 員、行政職員、市 町村社協役職員、 ボランティア、そ の他関心のある 方	30名
5-5	④セーフテ ィネット	委員派遣	震災がつなぐ全国ネットワーク による水害復旧マニュアル作成 のための会議に委員として参加	多数の 日程	東京		
5-5	④セーフテ ィネット	委員派遣	常総市、常総市社会福祉協議会と の3者協議の実施	多数の 日程	常総市内		
5-7	④セーフテ ィネット	就労支援の先進 事例視察	在住外国人のための就労支援の 事例視察	多数の 日程			
5-7	④セーフテ ィネット	小規模保育の先 進事例視察	在住外国人のための小規模保育 の事例視察	10月 27日	山梨県		
5-7	④セーフテ ィネット	在住外国人のた めの就労支援及 び小規模保育事 業を行う団体の 設立	一般社団法人 グローバルセンタ ー・commonsの設立及び事業開始 に向けた準備	多数の 日程	常総市内		
5-7	④セーフテ ィネット	在住外国人の生 活相談対応	日本の福祉制度につなげるなど、 母国語での相談対応	多数の 日程	JUNTOS ハウ ス	常総近隣の在住 外国人	10組
5-7	④セーフテ ィネット	外国人ピアサポ ーター・生活相談 員養成講座	常総市で通訳をしている人財の ヒアリングとネットワーク化及 び通訳・翻訳ニーズを踏まえた通 訳や翻訳を担う人材の育成プロ グラム開発	多数の 日程	常総市内	ピアサポーター や生活相談員希 望者	15名
5-7	⑤学びの機 会保障	在住外国人生徒 対象高校進学ガ イダンス	同行事の開催及び調整	多数の 日程		在住外国人生徒、 保護者など	50名
5-7	⑤学びの機 会保障	アフタースク ール	外国人児童生徒の小・中学生へ宿 題や教科指導	多数の 日程	グローバルセ ンター	在住外国人児童 生徒	20名
5-7	⑤学びの機 会保障	サマースク ール	外国人児童生徒の小学生へ宿 題や教科指導	夏休み	グローバルセ ンター	在住外国人児童 生徒	5名
5-7	⑤学びの機 会保障	冬期講習	高校受験を控えた外国人生徒の 学習支援	多数の 日程	グローバルセ ンター	高校受験を控え た外国人生徒	2名
5-7	⑤学びの機 会保障	サッカー大会	異文化交流サッカー大会の開催 及びその調整	多数の 日程	常総市内	在住外国人児童 生徒	12名

※ その他の事業は実施しなかった。

会務に関する報告

種類	回	日時	場所	出席者数	議決事項
通常総会		5月21日(土) 午後1時半～4時	トモスミとビル 3階 セミナーホール	123名(出席者31名、評決委任者74名、書面表決者18名)	<ol style="list-style-type: none"> 2015年度事業報告の承認を求める件 2015年度活動決算の承認を求める件 2016年度事業計画(案)の承認を求める件 2016年度活動予算(案)の承認を求める件 役員の報酬等並びに承認を求める件
理事会	第1回	4月24日(日) 午後3時～5時45分	コモンズ大工町事務所前の共有スペース	9名(出席者8名、評決委任者1名)	【協議事項】 <ol style="list-style-type: none"> 2015年度事業報告(案)及び活動決算(案)の検討 2016年度事業計画(案)及び活動予算(案)の検討
	第2回	6月26日(日) 午後1時半～4時半		6名(出席者5名、評決委任者1名)	【協議事項】 <ol style="list-style-type: none"> 常総市における災害復興の取り組み並びに国土交通省「スマートウェルネス住宅等整備事業」への申請内容の検討及び承認 事業運営体制の検討 設立20周年事業準備室設置の検討及び承認
	第3回	10月1日(土) 午後1時半～4時半		10名(出席者10名)	【報告事項】 <ol style="list-style-type: none"> 上半期事業報告及び決算見込みの報告 下半期事業運営体制の報告 【協議事項】 <ol style="list-style-type: none"> 下半期の常総関連事業計画の検討 いばらき未来基金の市民ファンド推進プログラム助成申請の承認 設立20周年事業の検討
	第4回	11月21日(月) 午後5時～7時半		6名(出席者6名)	【審議事項】 <ol style="list-style-type: none"> 常総での一般社団法人設立の承認を求める件 特定個人情報等の事務取扱担当者の承認を求める件
	第5回	2月13日(月) 午後5時～7時		7名(出席者7名)	【報告事項】 <ol style="list-style-type: none"> 各事業の進捗状況の報告 【協議事項】 <ol style="list-style-type: none"> 来年度事業の方向性の検討
	第6回	3月27日(火) 午後2時～5時		稲敷市お試し住宅「haneyasume」	5名(出席者5名)

会員数内訳

	2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			
	個人	団体	合計	前年比												
正会員	109	85	194	+19	97	81	178	-16	94	78	172	-6	96	87	183	+9
賛助会員	15	9	24	0	14	8	22	-2	14	8	22	0	14	7	21	-1
購読会員	6	1	7	-3	4	2	6	-1	4	1	5	-1	7	1	8	+3
合計	130	95	225	+16	115	91	206	-19	112	87	199	-7	117	95	212	+13

個人正会員 (50音順・敬称略)

相原 正夫	小田 佳津子	郡司 まさ子	鈴木 雅弘	六反田 和江	藤咲 泰弘
青木 高志	小貫 由美	小鷹 美代子	須藤 文彦	富永 泰世	藤沼 良夫
赤津 一徳	小幡 登	後藤 岳志	関口 敦男	中島 晃士郎	古山 みのり
赤津 多佳子	梶山 瑞江	後藤 真紀夫	瀬谷 哲彦	中原 淑美	本田 秀樹
安久 正倫	方喰 英幸	小松崎 登美子	高木 香	中原 雅美	前島 朋子
綾部 みよ	金沢 直子	古山 均	高橋 かよ子	野原 藤男	町田 栄子
有賀 絵理	神長 康典	斎藤 義則	竹内 優子	萩谷 慎一	松尾 由美子
池田 幸也	鴨志田 和枝	坂井 寿栄子	竹中 紀博	橋本 てるみ	松原 卓朗
石関 宏子	仮屋 茂	桜庭 紀久子	帯刀 治	蓮見 孝	室 龍太郎
伊関 望	川俣 佐代子	佐藤 伸	田中 宣之	長谷川 いつ	森木 孝司
内田 真	菊池 克幸	澤幡 博子	田中 伸幸	花田 賢三	森下 松寿
江崎 礼子	菊池 康弘	塩原 慶子	田中 玲子	塙 茂	森田 多美子
遠藤 理沙	木村 ひとみ	渋谷 暁享	塚本 勝美	福士 敏夫	柳橋 剛
大高 はづき	木村 福一	清水 悦子	塚本 美和子	福田 義輝	矢野 正広
大野 覚	清山 玲	鈴木 雄貴	恒川 敏江	福地 伸	横田 能洋
奥平 基雄	栗原 とし子	鈴木 博久	照山 興一	藤井 康彦	米田 佐知子

団体正会員 (順不同・敬称略)

認定 NPO 法人 いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい	NPO 法人 茨城自立支援センター	NPO 法人 生活支援ネットワークこもれび
認定 NPO 法人 水戸こどもの劇場	NPO 法人 ウィラブ北茨城	NPO 法人 青少年の自立を支える会
認定 NPO 法人 リヴォルヴ学校教育研究所	NPO 法人 うしく里山の会	シオン
認定 NPO 法人 市民活動センター神戸	NPO 法人 エイエスピー	NPO 法人 セカンドリーグ茨城
NPO 法人 HSE リスク・シーキューブ	NPO 法人 エコ・グリーンいばらき	NPO 法人 大好きかすみがうら
NPO 法人 M・I・T・O21	NPO 法人 大洗海の大学	NPO 法人 たすけあいネット民の会
NPO 法人 MANNA	NPO 法人 おおぞら	NPO 法人 つくばアーバンガーデニング
NPO 法人 NPO こすもす	NPO 法人 オンリーワン	NPO 法人 とらい
NPO 法人 NPO 消費者相談室	NPO 法人 かしま遊休地活用クラブ	NPO 法人 ドリームたんぼぼ
NPO 法人 あすかユーアイネット	NPO 法人 かしま楽園倶楽部	NPO 法人 とりで西部ふれあいクラブ
NPO 法人 あすなろ会	NPO 法人 こが里山を守る会	NPO 法人 なごみ
NPO 法人 アセンブル	NPO 法人 古河市障害児(者)支援の会 希望	NPO 法人 並木会
NPO 法人 あゆみ	NPO 法人 子どもの造形美術と学びを考える会	NPO 法人 ナルク水戸
NPO 法人 育泳会	NPO 法人 災害ボランティアネット	NPO 法人 認知症介護家族の会うさぎ
NPO 法人 茨城 YMCA	NPO 法人 里山再生と食の安全を考える会	NPO 法人 農業支援センター
NPO 法人 茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会	NPO 法人 宍塚の自然と歴史の会	NPO 法人 発達支援グループ風の子
NPO 法人 茨城県精神障害地域ケア一研究会	NPO 法人 自然生クラブ	NPO 法人 はつらつ会
	NPO 法人 スリーアール茨城	NPO 法人 ビスターりさとみ会
	NPO 法人 生活支援ネットワーク・介護セブン	NPO 法人 ひたち親子の広場

NPO 法人 ひと・まちなねっとわーく	NPO 法人 守谷ファミリークラブ	茨城県生活協同組合連合会
NPO 法人 ひまわり	NPO 法人 友愛会	いばらきコープ 生活協同組合
NPO 法人 ふくろう	NPO 法人 ユーアンドアイ	生活協同組合 パルシステム茨城
NPO 法人 ふじしろ福祉の会	NPO 法人 結城まちづくり研究会	日本労働組合総連合会 茨城県連合会
NPO 法人 ふれあい	NPO 法人 らぼーる朋	中央ろうきん 社会貢献基金
NPO 法人 ふれあい坂下	NPO 法人 れいめい	一般社団法人 茨城県経営者協会
NPO 法人 ベル・サポート	一般社団法人 もりや子育てネット	株式会社 アドバンス
NPO 法人 ぼこりっと	ワーク ままもり	勝田パークボウル（第一観光開発 株式会社）
NPO 法人 まごころねっとわーく	NPO 環～WA	だるま食品株式会社
NPO 法人 まちづくり市民会議	office ソラン堂	
NPO 法人 ままとーん	いばらき森林クラブ	
NPO 法人 水戸に精神障害者のくらしを作る会 おらい水戸	シニアネット水戸	
	社会福祉法人 ユーアイ村	

個人賛助会員（50音順・敬称略）

飯田 恭之	井田 米子	大津 洋	中村 英一	松本 治郎
石橋 丈夫	榎田 よしみ	土崎 雄祐	平野 聡	吉澤 昇
和泉 孝	江本 里子	徳田 太郎	藤原 忠弘	

団体賛助会員（順不同・敬称略）

NPO 法人 くらし協同館なかよし	NPO 法人 取手市手をつなぐ育成会	NPO 法人 らしん盤
NPO 法人 市民支援センターともべ	NPO 法人 ニューライフカシマ 21	
有限会社つくばインキュベーションラボ	NPO 法人 ふれあい潮来	

購読会員（順不同・敬称略）

落合 幸	根本 真嗣	山上 真弓
小泉 力夫	平井 恵美子	NPO 法人 つくば環境フォーラム
富山 久司	山上 弘明	

団体からの助成金及びご寄付（順不同・敬称略）

公益財団法人 茨城新聞文化福祉事業団	有限会社 白石製作所	介護セブン
一般財団法人 YS 市庭コミュニティ財団	日本語学校つくばスマイル	NPO 法人 多文化共生教育ネットワークかながわ
一般財団法人 茨城県労働者福祉基金協会	とりで旅行センター	NPO 法人 つくばクリエイティブリサイクル
一般財団法人 ハウジングアンドコミュニティ財団	パペエテ	NPO 法人 ふくろう
社会福祉法人 浦安市社会福祉協議会	タロットガーデンイシス	NPO 法人 ふれあい
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	生活協同組合連合会 グリーンコープ連合	NPO 法人 ふれあい坂下
花王ハートポケット倶楽部	生活協同組合 パルシステム茨城	NPO 法人 れいめい
損保ジャパン日本興亜ちきゅう倶楽部	宗教法人 真如苑	NPO 環～WA
株式会社 ストライプインターナショナル	認定 NPO 法人 市民福祉団体全国協議会	一般社団法人 栃木県若年者支援機構
ファイザー 株式会社	認定 NPO 法人 難民を助ける会	港北区災害ボランティア連絡会
株式会社 ラッシュジャパン	NPO 法人 NICE（日本国際ワークキャンプセンター）	国際救急法研究所
	NPO 法人 あすかユーアイネット	震災がつなぐ全国ネットワーク
	NPO 法人 オンリーワン	退職公務員連盟
	NPO 法人 災害ボランティアネット	大好き いばらき 県民会議
	NPO 法人 市民社会創造ファンド	つくば子ども劇場
	NPO 法人 生活支援ネットワーク・	つながっぺ常総

ご支援、誠にありがとうございました。2017 年度も引き続きご支援お願いします。